

--- 立地基準の検討 ---

事例調査結果等からの基準項目の網羅的抽出・整理

平成24年4月27日

埋施設設置に関する技術専門委員会

(1) 立地基準項目の区分

国内外の類似施設の立地選定に関する先行事例を整理した結果、立地基準の項目は以下の4つの大項目の下に分類された。

安全性

先行事例及び安全審査指針における基本的立地条件（原子力安全委員会）を参考に、さらに「**自然環境**」と「**社会環境**」の2つに区分された。

環境保全

先行事例の調査結果に基づき、さらに「**土地利用に係る規制・計画**」と「**景観**」の2つに区分された。

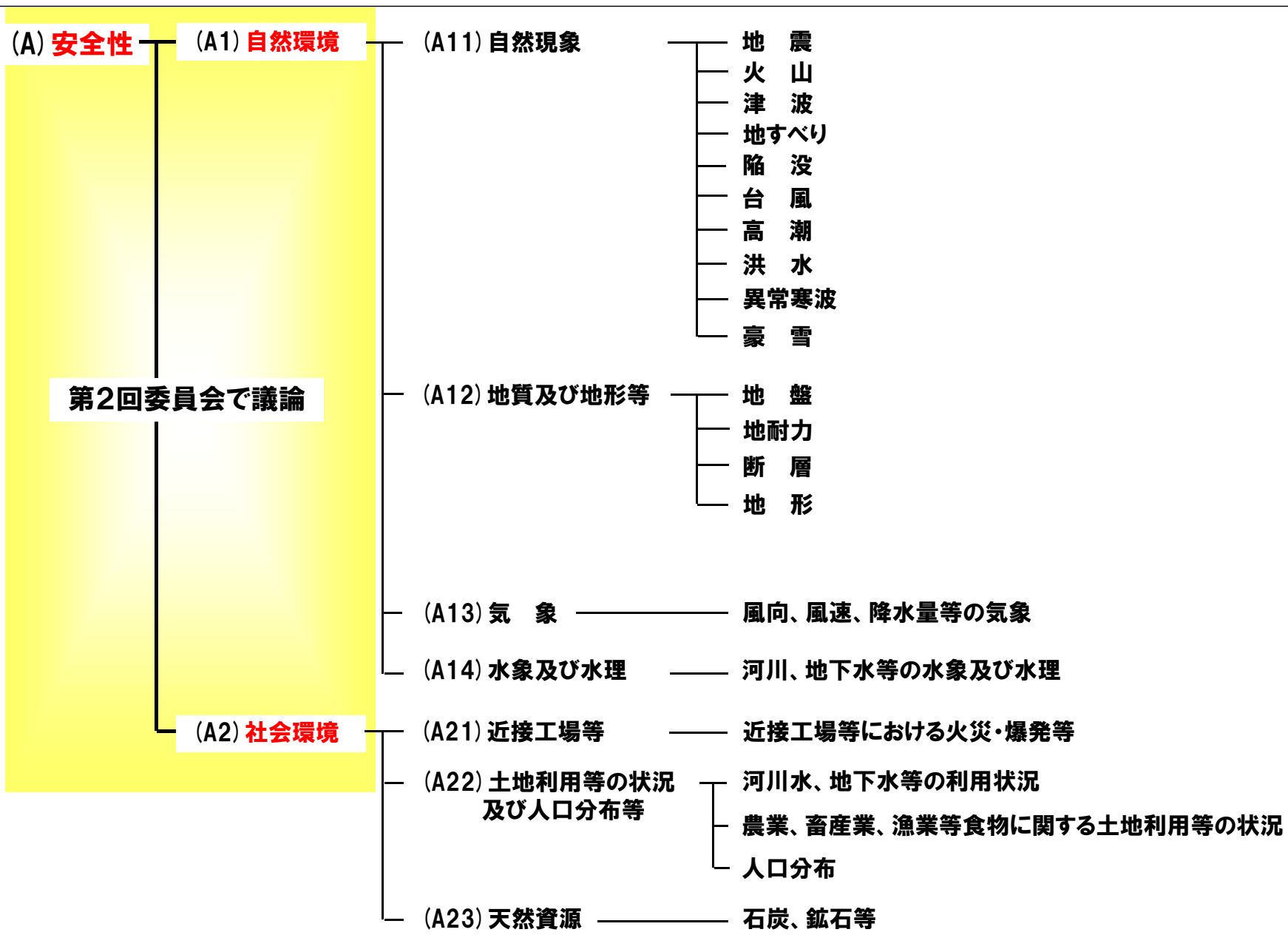
経済性

先行事例の調査結果に基づき、さらに「**事業用地、ユーティリティ**」、「**輸送**」、「**その他**」の4つに区分された。

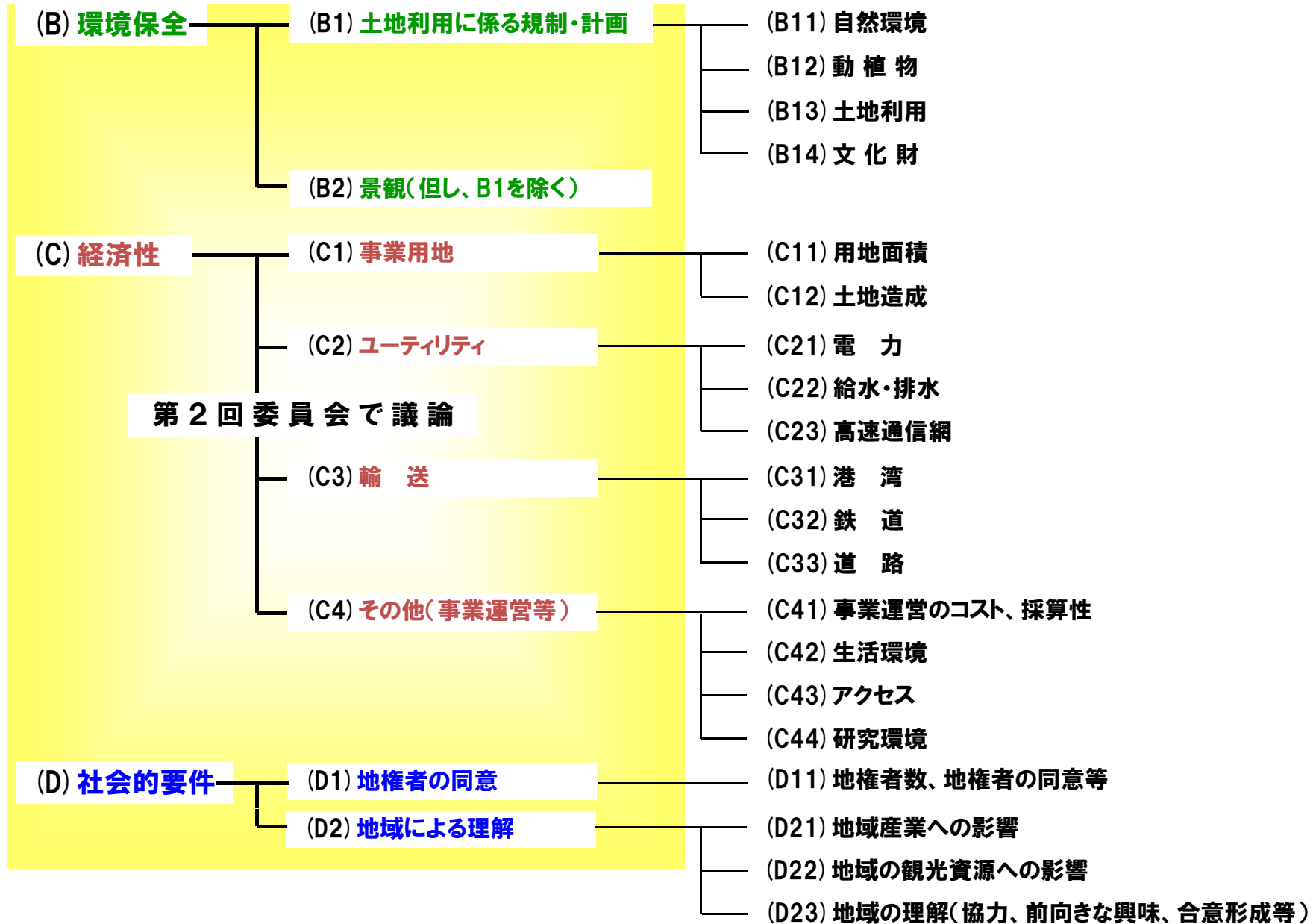
社会的要件

先行事例の調査結果に基づき、さらに「**地権者の同意**」、「**地域による理解**」の2つに区分された。

(2) 事例調査結果等からの基準項目の網羅的抽出・整理 (1/2)



(2) 事例調査結果等からの基準項目の網羅的抽出・整理 (2/2)



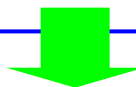
(3) 埋設事業の特徴、要件と立地基準策定の視点について

研究施設等廃棄物の埋設施設の立地に際しては、安全性はもとより、一般的な工場立地等の場合に比較して、より一層の地域社会の理解が不可欠と考えられる。

したがって、安全の確保と地域社会の理解が必要であることが、特に埋設事業の特徴として挙げられる。

また、長期間保管されてきた廃棄物の早急な処分を行う社会的要請も踏まえ、事業の透明性と信頼の確保や経済性に配慮した合理的な処分が求められている。

したがって、事業の早期実現、透明性と信頼性、及び経済的合理性を確保することが、埋設事業に求められる要件と考えられる。



まず、埋設事業の「透明性と信頼性」及び「早期実現」を確保する上では、立地基準を客観的に明確に定め、これに則って立地選定を公正・迅速に進めることが必要である。

埋設事業の特徴である安全の確保に答えるためには、「**安全性**」の立地基準が、地域社会の理解に答えるためには、「**環境保全**」や「**社会的要件**」の立地基準が不可欠となる。また、埋設事業の要件である経済的合理性を実現するためには、「**経済性**」を立地基準として加えておくことが妥当と考えられる。

したがって、上記4つの大項目の下に立地基準を策定することは、埋設事業の特徴と要件とに整合しているものと考えられる。



添付資料

事例調査結果に見られる基準項目の適用

＜基準項目の区分と事例の対比【1/3】＞

評価項目の区分※1			指針※1	事例1	事例2	事例3	事例4	事例5	事例6	
(A) 安全性	(A1) 自然環境	(A11) 自然現象	(A110) 地震	○	○			○		○
			(A111) 火山	○	○			○		
			(A112) 津波	○				○		
			(A113) 地すべり	○	○			○	○	○
			(A114) 陥没	○						
			(A115) 台風	○						○
			(A116) 高潮	○						
			(A117) 洪水	○	○			○	○	
			(A118) 異常寒波	○						
			(A119) 豪雪	○						
	(A12) 地質及び地形等	(A120) 地盤、地耐力、断層等の地質	○	○	○	○	○	○	○	○
		(A121) 地形	○	○		○		○	○	○
	(A13) 気象	(A130) 風向、風速、降水量等の気象	○				○			
	(A14) 水象・水理	(A140) 河川、地下水等の水象及び水理	○	○	○		○	○	○	
(A2) 社会環境	(A21) 近接工場等	(A210) 近接工場等における火災、爆発等	○				○		○	
	(A22) 土地利用等の状況及び人口分布等	(A220) 河川水、地下水等の利用状況	○				○			
		(A221) 食物に関する土地利用等の状況	○		○	○	○			
		(A222) 人口分布	○			○				
	(A23) 天然資源	(A230) 石炭、鉱石等	○	○	○					

第2回委員会で議論

※1 上表「(A) 安全性」は、安全審査指針における基本的立地条件(原子力安全委員会)をもとに区分を設定

本委員会で議論

事例1: 高レベル放射性廃棄物処分施設(国内)の概要調査地区選定上の考慮事項(文献等による評価項目)

事例2: 高レベル放射性廃棄物処分施設(スウェーデン)の文献調査による初期スクリーニング段階での基準

事例3: 高レベル放射性廃棄物処分施設(米国)の文献調査による初期スクリーニング段階での基準

事例4: 使用済燃料中間貯蔵施設(国内)の立地可能性調査の調査項目

事例5: 産業廃棄物最終処分施設(国内)

事例6: 国内熱核融合実験炉の国内候補地(国内)



＜基準項目の区分と事例の対比【2/3】＞

評価項目の区分		事例1	事例2	事例3	事例4	事例5	事例6	
(B) 環境保全	(B1) 土地利用に係る規制・計画	(B11) 自然環境		○	○		○	○
		(B12) 動植物			○	○	○	○
		(B13) 土地利用		○	○		○	
		(B14) 文化財		○		○	○	○
	(B2) 景観(但し、B1を除く)				○	○		
(C) 経済性	(C1) 事業用地	(C11) 用地面積	○				○	○
		(C12) 土地造成					○	○
	(C2) ユーティリティ	(C21) 電力						○
		(C22) 給水、排水						○
		(C23) 高速通信網						○
	(C3) 輸送	(C31) 港湾	○	○				○
		(C32) 鉄道		○				
		(C33) 道路		○			○	○
	(C4) その他(事業運営等)	(C41) 事業運営のコスト、採算性					○	
		(C42) 生活環境						○
(C43) アクセス							○	
(C44) 研究環境							○	

第2回委員会で議論

- 事例1: 高レベル放射性廃棄物処分施設(国内)の概要調査地区選定上の考慮事項(文献等による評価項目)
- 事例2: 高レベル放射性廃棄物処分施設(スウェーデン)の文献調査による初期スクリーニング段階での基準
- 事例3: 高レベル放射性廃棄物処分施設(米国)の文献調査による初期スクリーニング段階での基準
- 事例4: 使用済燃料中間貯蔵施設(国内)の立地可能性調査の調査項目
- 事例5: 産業廃棄物最終処分施設(国内)
- 事例6: 国内熱核融合実験炉の国内候補地(国内)

＜基準項目の区分と事例の対比【3/3】＞

評価項目の区分			事例1	事例2	事例3	事例4	事例5	事例6
(D) 社会的要件	(D1) 地権者の同意	(D11) 地権者数、地権者の同意等					○	○
	(D2) 地域による理解	(D21) 地域産業への影響		○				
		(D22) 地域の観光資源への影響		○				
		(D23) 地域の理解 (協力、前向きな興味、合意形成等)		○			○	○

第2回委員会で議論

事例1: 高レベル放射性廃棄物処分施設(国内)の

概要調査地区選定上の考慮事項(文献等による評価項目)

事例2: 高レベル放射性廃棄物処分施設(スウェーデン)の

文献調査による初期スクリーニング段階での基準

事例3: 高レベル放射性廃棄物処分施設(米国)の

文献調査による初期スクリーニング段階での基準

事例4: 使用済燃料中間貯蔵施設(国内)の立地可能性調査の調査項目

事例5: 産業廃棄物最終処分施設(国内)

事例6: 国内熱核融合実験炉の国内候補地(国内)